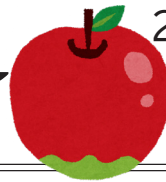


いいわき探検記



2022年9月号 (Vol. 7)
地域おこし協力隊
辻村 春香

今年はねぶたも大々的に再開し、久しぶりに“夏の風物詩”を肌で感じられる夏でしたね。一方で、天候不良の影響で農作物には多くの影響が出ています。そんな中過ごした8月の記録を、ぜひご覧ください。

告知

「みんなの居場所 ステップ」始動

9月10日(土)を皮切りに、岩木地区での“居場所づくり”がスタートします。

9月10日は、おりしも十五夜。
「五代集会所では、毎年十五夜の夜に獅子が舞う」。
五代町会以外の方は、なかなか知らない情報ですよ
ね。

これを書いている最中は、まだ実施前なので、どんな初日になるのかヤキモキしながら準備しています。

居場所を利用できる人：

居住地域不問・年齢不問・職業不問。
※五代町会にお住まいでなくても利用できます。

居場所での過ごし方：

利用者自身で決められます。
手芸道具を持ってきて手芸をしてもよいし、勉強道具を持ってきて勉強してもよし。読書してもよし。
※11月以降、弘前大学の学生ボランティアに来てもらえるよう、大学に申請中です。

利用料金：

基本は無料。空間の一角でプチイベントを企画中。
イベント参加者のみ、実費(ワンコイン程度)をいただく形にしたいと考えています。

開放時間：

開始時間から4時間程度。

次回は10月10日(月・祝)10:00～。

お昼挟んでの開催となりますが、お昼ご飯は持参、でしょうか…? ※まだ決めていません。

コロナというご時世なので、“自分で作ったものを自分で食べる”という形で、おにぎりづくり・のり巻きづくりとかしてみたいと思いますが、スタッフが少ないので実施できるかどうか。できそうだったら、具材代をちょっといただいて、やってみたいと考えています。

ちなみに**10月10日は、五代稻荷神社の神楽の日。稻荷神社で獅子舞の演舞があります。**



みんなの居場所 # ステップ

五代多目的集会所を開放します。 十五夜

9/10 (土) 14:00~18:00
10/10 (月・祝) 10:00~14:00

五代稻荷神社 神楽

こんな方は、ぜひいらしてください。
・ただ居るだけでいい場所があれば…
・学校・職場以外に過ごせる場所が欲しい
・最近、あまり人と話していない

会場の中で、プチイベントを計画中。イベントには、200円(実費)で参加できます。(来てから決めてOK)

来て、何もなくてもいいし、おしゃべりしてもいいし、何か作業してもOK。

地図 Google Map

主催：みんなの居場所 ステップ44

「居場所づくりを始めようと、集まったメンバーで作った任意団体です。団体のメンバーも募集中です。活動に参加して、面白かったら、ぜひ仲間になってください。」

チラシ

報告 ～藍生葉染め 体験&ゆめみるこぎん館 見学～

8月28日(日)・29日(月)の2日間にわたり、4回開催。

お申込みは21名。体調不良等の欠席があり、17名の方がご参加。

岩木地区からは1名、その他弘前市内、青森市・平川市・田舎館村・五所川原市と、様々な地区からおいでくださいました。

男性も2名。わいわいガヤガヤと賑わいました♪

① 生葉染め

「染め体験は初めて」という方が多かったです。

身近にある輪ゴム・ビー玉・割りばし等をつかって、イメージする“絞り”の柄を出そうと、みなさん試行錯誤。

中には、地模様がある生地のためか、「わたし、このままでいい」と、柄をつけずに染めた方も3名ほど。

仕掛けをつけた絹布を茶色い液に浸し、みなさん、内心「茶色？」と、思っていたことでしょう。

浸し時間は30～60分必要なので、その間に“叩き染め”に挑戦！



仕掛けを施した絹布を浸すのは茶色い液…？

② 叩き染め



デザインを考えながら葉を配置して、叩く！

「叩き染めって何!？」から始まりました(ˉˉ;)

各回が始まる直前に、会場から徒歩2分ほどの畑に赴いて、摘んできた生葉。

水バケツに入れた藍から、プチッと葉をもぎ取り。床等を保護するために板を敷き、その上に生地、生葉、フィルムの順に乗せ、フィルムの上から生葉を叩く。ひたすら叩く。

力で叩く、というよりは、いかに“シャキッ”とした葉を選び、短時間にまんべんなく圧をかけられるかが勝負。時間がたつほど葉が乾燥し、色が付きにくくなります。

ご持参いただいたTシャツの生地によっては、なかなか染まらない生地もあり、悪戦苦闘を繰り返していた方も…。

③ 洗淨

叩き染めをしている間に30分、40分と経ち、染め液を見ると緑色に。

生地を引き上げると、緑ではなく淡い青。

こちらを水で3度洗いし、タオルドライした後に干しました。

「藍ってこんなに薄いの!？」という声もありましたが、そこは生葉だから。

発酵した藍(=すくも)を使う方法でも、青の深さにより何段階も色の名称が変わる藍。

生葉では深い色には染まりませんが、夏特有の染め方なので、涼しい青でみなさんご満悦…？



3回水ですすぐうちに、あらわになる色あいと絞りの出来具合

④ ゆめみるこぎん館 見学

生葉染めした絹布を乾燥中は、ゆっくりとこぎん館を見学。

参加者のほとんどは、初めての来館。

昨年亡くなられた館長のおばあ様が収集された古作こぎんや民芸品のほか、作品等を展示。ものによっては触ることも間近に観察することも可能なので、博物館等では味わえない、物の深みがあります。

一部の古作こぎんについては、羽織ることも可能。

羽織った方の感想は、聞き甲斐がありますね。

結構な時間でしたが、物足りず「もう一回、改めて来るわ!!」というお声も多数あがりました。



触れたり、羽織ったりしながら
古作こぎんを味わう。

最後は、私の作った、長いなが〜いアンケートに、みなさま必死にご回答くださいました。
お疲れのところ、ありがとうございました。

※藍の生葉染めのワークショップは、できる限り継続的に実施していきたいと考えています。

※また、布製作に向けたワークショップも企画していきたいと考えています。

今回、参加できなかった方、ぜひ次回の開催をお待ちください！



参加してくださった皆さま、おつかれさまでした！！

～その他～

畑のこと

8月の2度にわたる豪雨。

“ひろさき未来創生塾”の畑&食育ワークショップのために借りている葛原の畑が、一番影響がありました。

今年入手したばかりの畑の一角を貸してくださった園主さん。

「辻村さんに貸したところが一番、水が被らない場所だとわかった…」と。

勾配の上のほうにある園主さんの大豆畑は軒並み大豆が倒れ、下にある私たちの大豆はギリギリの踏ん張りを見せている様子。

とはいえ、まったく水をかぶらなかつたわけではなく、水路近くにあったトマトは壊滅的。

また、園主さんの畑を通して借りている畑に行くまでの橋は、橋げたが流されて、「どこを通れば安全?!」という状態に。

私たちの畑は、家庭菜園規模なのでまだしも、本業農家さんの被害が想像するだに恐ろしい…。



トマトはほぼ、立ち枯れ状態…



枠のところには、元は橋が架かっていた。

◆◇ 編集後記 ◇◇

8月は7月に引き続き、なんだか怒涛のように過ぎていきました。
「雨がひどい」と思い、畑に出かけられる回数も少なく、晴れた日に一気に作業…、と
思っていたら足腰を痛めました。
痛み、けっこう長引いており、苦しんでおります。
岩木はこれからリンゴが忙しい時期。
無理しがちな時期ではございますが、みなさま、ご自愛くださいませ。

WANTED

空き家を探しています！

探しています！



岩木地区に農業体験等のできる拠点を作りたいと考えております。
地域内外の人と交流できるスペースとしたいので、空き家を探して
います。

(物件への要望)

- ・ 退任後の居住を見据え、賃貸契約にて貸していただける物件。
- ・ 部屋数多め (5室以上あると嬉しい)。
- ・ リフォーム・リノベーションをしてもよい。
- ・ 車庫や倉庫があれば、なお嬉しい。
- ・ 立地：岩木地区内で、“少し足を延ばせば” 里山や畑に行ける場所。
- ・ 賃料やその他条件⇒相談させてください。

「空き家になる予定があつて…」 「親せきに管理まかされているけど…」 「1部屋だけは
立入禁止にしたいけど、それ以外は使ってもらっていいんだけど…」 など。

情報があれば、まずはご一報いただき、お話しさせていただきたく思います！

梅や柿などの果樹

岩木地区内を歩いていると、放置された果実をよく目にします。
庭やリンゴ畑の隅に植えたんだけど、さまざまな理由で収穫さ
れず、放置されている果実たち。

一方で、市街地に住んでいる方からは「梅が手に入るなら、梅干
しを漬けてみたい」「庭に柿があるなら、干し柿作りにチャレンジた
い」という声を聴きます。

そこで…、その2者を結びつけるワークショップを企画したいと考
えています。

“手が回らなくて採りきれしていない果実 (梅、杏、プルーン、柿など)
があつて困っている方” を探しています。

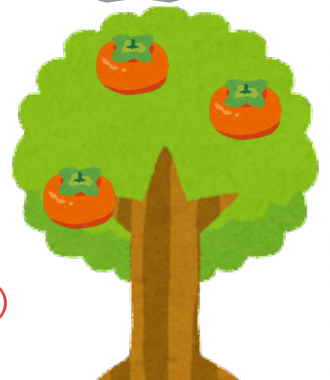
果実を分けていただけたらな、と。

枝切り等必要であれば、方法を教えていただきながら、作業もしたいと考えています。

最終的に、収穫物・加工物を何割かお返しする形で、お礼する予定です。

「提供してもいいよ！」という方いらっしゃれば、お声がけください。

“果実採りたい (隊)”
をつくりたい…



もろもろ情報
お待ちしております！

連絡先
岩木総合支所 総務課

地域おこし協力隊 辻村まで

Tel: 0172-82-1621

Mail: har-tsuji@city.hirosaki.lg.jp



「いわき探検記」が、
協力隊のホームページ
に掲載されました！

こちらから、バック
ナンバーがご覧いた
だけます♪